

刊夕日七月一十



定価 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
電話 六二〇〇
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

都市計画法を

実施指定の理由

平町より提出の申請書

産業は地勢及び交通の利便石炭の豊富並に水利の潤澤とに依り諸般の工業勃興しその主なるものに片倉磐城製糸會社並に最大出力一萬六千キロの設備を有する磐城炭礦會社、平火力發電所及東部電力會社、日立電力會社の各發電所、平電力會社、平製氷會社、磐城建物會社、丸ぼん木工會社、堀江工業會社、東北化學工業會社、色川木材會社等あり、個人經營の主なるものには吉村製綿工場、河田鐵工場、吉伴鐵工場、武藏鐵工場、佐藤鐵工場及難波製糸工場等あり各々業務の隆盛を呈す。

工業物價格は昭和五年度金壹百六十六萬八千餘圓、全六年度壹萬百七十萬四千餘圓、全七年度金壹百十五萬四千餘圓に達す。農業生産は比較的振はざるも畜産と併て年額金十四萬五千餘圓を産しつゝあり加之附近四圍の農産物に林産物に、海産物に、或は礦山物就中石炭等に恵まれ是等物資の集散夥しく郡内は勿論遠くは他郡に及ぶ、

商業の中心地として比率活潑の状を加へ而して隣接町村の人口は約十萬に近く出入繁榮す。戸口の増殖率は昭和五年度四千八百八十八戸、人口二萬七千四百七十三人、全七年度に於いて四千八百八十二戸人口二萬七千五百六十二人にして未だ大なりとは云ひ難きも隣接十五部落八百七十四戸、五千三百四十二人を併合すれば總戸數五千六百八十六戸、人口三萬二千九百四人に達し而も之が境界線は僅かに道路を隔て、人家の櫛比するあり、或は河の對岸なるあり、又は田園を隔て、點々散在するも將來の聯絡發展を豫期し得

如斯趨勢を呈する當町として速かに都市計畫を樹立して、其の内容を定め交通道路を整全して區劃を整理し以て街區の擴大に便し或は上下水道を擴充整備して水利の普及衛生に資し、或は社會公衆の事業に便して公會堂並に圖書館を建設し又は公園の改良、或は學校を増設して子女の教養に裨益し或は應舎の新築或は警防設備の充當を謀りて保安の途に備ふる等社會事業の各般に亘り緊要事業の未だ實施に至らざるもの頗る多く、此等事業の施設は最も慎重考慮を要するを以て今日に於て能く將來の方針を

確詰や魚の中毒には毒を盃に一杯位飲む、澁柿を噛むよし。

へきもの等あり。教育方面に於ては縣立中學校及縣立高等女學校あり又町立五年制甲種商業學校の在るあり、私立學校には佑賢學舎、青年學校、藤田

確立し永久に公共の安寧を維持し又は福利を増進するに苟くも違算勿らしめざる可らず、依て茲に今回改正發布せられたる都市計畫法に依る適用町村として指定を請ひ同事業計畫に依り其の一切を完成し以て當町の將來及附近地方を利益し延て國家に貢獻せんとするものなり、是れ乃ち本申請に及びたるの理由なりとす。

高野 島野 平野 堂野 易野 澤野 前野 斷野 所象

【一】氣運滯滞の日進んで損害を生ずる凶日なれば萬事控目が吉なり【二】我望事に奔走して他人の應援を得て吉利を得る日戌亥と辰巳凶【三】縁談望事等萬事吉利を得る日東西凶【四】縁氣ばかり焦り物事抄々しからざる日なれば家内丑寅凶【五】深身の屯底に陥り助けを呼ぶ様な事なれば水火の難に注意南北凶【六】營業發展を計るに利あり出資多くも後に功あり水火の難に注意南北凶【七】赤【八】我目的に奔走して大利を得る日なれば病氣と紛失物に注意丑寅未申凶【八】白【九】談望事は延々する日なれば短氣を起す家内圓滿に計る可し東西凶【九】紫【十】金錢問題より目上と争論を引起す事あれば謙遜以て吉戌亥と辰巳凶

【一】氣運滯滞の日進んで損害を生ずる凶日なれば萬事控目が吉なり【二】我望事に奔走して他人の應援を得て吉利を得る日戌亥と辰巳凶【三】縁談望事等萬事吉利を得る日東西凶【四】縁氣ばかり焦り物事抄々しからざる日なれば家内丑寅凶【五】深身の屯底に陥り助けを呼ぶ様な事なれば水火の難に注意南北凶【六】營業發展を計るに利あり出資多くも後に功あり水火の難に注意南北凶【七】赤【八】我目的に奔走して大利を得る日なれば病氣と紛失物に注意丑寅未申凶【八】白【九】談望事は延々する日なれば短氣を起す家内圓滿に計る可し東西凶【九】紫【十】金錢問題より目上と争論を引起す事あれば謙遜以て吉戌亥と辰巳凶

印刷物の御用命は總て
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

黒小倉通學服賣出
冬服の御用意をなさいましたか
弊店は御満足の頂ける黒小倉服を
澤山取揃へ特價にてお務めしております

旭硝子株式會社製品
板ガラス
硝子食器
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

耳鼻咽喉專門
山内醫院
平町田町七〇番地
醫學士 山内亨吉
電話六九一

金銀高價買入
根本時計店
平二(電話六〇七番)

毛糸
今年度新色全部揃へました。
何卒御来店下さい

蒟蒻の大暴落

粗悪品が市場を荒す

郡農會の注意書

田入、荷路夫山間部落の重産要物たる蒟蒻の相場は一昨一昨二三日四十圓位迄に取引きされたが現在は一昨百六七十圓に下落して居るので生産者は採算上品質を餘り省みず粗悪品が多くなつた爲め郡農會では左記の注意書を發すると一洗滌を完全に事一病患部を完

歴史研究出席

濱三郡中等學校歴史研究會は來る十一日双中に於いて開かれる事になつたが警中より齊藤教頭を始め廣田、中島兩教諭が出席すると

警中の競技記録

益々向上の傾向

警中競技部では今回の體育デーに際し競技大會を備した各各種目に於ける最高記録者は左の如くである
(百米) 一・二秒六 四年阿部好一 同 五年小井戸雅司(二百米) 二・六秒一 五年杉浦啓三(四百米) 一・四分一秒 五年吉田清秋(八百米) 二・分二・五秒六 三年鈴木計(千五百米) 四分五・一秒四分三 五年鈴木

軍事映畫の純益金

平町三小學校に配分

既報去月二十八日聚樂館に於いて映畫會を催した平在郷軍人分會では純益金百六圓八十六錢に達したので此内事業資金及び出征軍人慰問費として七十八圓を差引き残金二十八圓八十六錢は左の如く三小學校に寄附

員を本日左の三氏に決定来る十五日頃出發の豫定
澤渡校長鈴木佐四郎 小

來る十五日から

兒童の榮養週間

平町の實施要綱

平町役場では來る十五日から一週間を兒童榮養週間とし關係諸機關と聯絡の上目的達成の爲め左の實施要綱を試みる
一、ポスター提示
二、榮養に關する印刷物配布
三、兒童の健康診断並に榮養に關する指導
四、小學校に於ては全兒童の健康診断を實施し榮養不良兒童を發見すると共に個々兒童の榮養不良の原因を個別的に兒童の全生活環境に亘つて精査し其の原因除去に關し兒童並に其の家庭を指導すること
五、小學校、女學校等に於て兒童榮養料理の指導をなすこと
六、兒童の榮養に關する講演會、座談會、映畫會等を開催する事

生徒の産業調査

平商で入賞者決定

既報平商にては四、五年兩學年生に夏休中の課題として郷土の産業調査をせしめ其後係教諭が審査中の處本日入賞者を左の如く決定明日八日賞状と共に商友會寄贈の賞品を授與するが調査結果は近く發行される同校々友會雜誌に掲載する由
△二等 「組合の調査」 五年 山田正直
「繭の調査」 五年 四家肇
△三等 「平町の商業調査」 四年 戸田清
△佳作 五年 志賀謙二
同 諏訪次郎
同 小原修一
原委員双中へ警中及び警女に於ける公民科の視察をした文務省視學委員

名濱訓導船生伊佐美 平第一校訓導大和田祐之

平町物價

原房孝氏は今七日午前十一時十八分平發双中に向つた
澤渡蔬菜講演 澤渡
村農友會支部では來る十一日午前九時より同村小學校に於いて農事講演會を開き神谷農事試験分場の矢ノ崎技手が蔬菜の栽培に就いて講演ある等

白米	一等	一キロ	一七五
白米	二等	一キロ	一七〇
白米	三等	一キロ	一六五
白麥	全	一〇〇	一〇〇
平麥	全	一四〇	一四〇
味噌	一貫目	五〇〇	五〇〇
醤油	一升	四〇〇	四〇〇
清酒	全	一〇〇〇	一〇〇〇
木炭	樽丸一貫目	二四〇	二四〇
砂糖	赤	二二〇	二二〇
砂糖	白	二二〇	二二〇
豚肉	並上	四〇〇	四〇〇
豚肉	並上	三〇〇	三〇〇
牛肉	並上	四〇〇	四〇〇
牛肉	並上	二五〇	二五〇

流行品の

冬物大賣出

田町玉屋洋品店では冬物の賣り出を開始したがいづれも今年の流行品で相變らず値段が安く人氣を呼んでゐる
磨けば光る 家庭の必需品
白銀町芳賀商店で新發賣の

日の出納豆は極小量の粉で總べてが輝くばかり奇麗になり家庭にはなくてはならない必需品として評判

日出納豆

美味で滋養

富士自轉車
古鍛冶町佐藤ラムネ店では愈々季節になつたので例年の如く箱入り之日出納豆を賣出したが美味で滋養豊富、然も値が安く贈答品にも好適である

お待兼の...
楠公父子
ボルネオの東
大空の闘士
西部開拓
れかなす落見

◎料金大人二〇 子供一〇

聚樂館

鼻病、腦病
化學治療薬 **ビノサン**
小壹圓貳拾錢、中貳圓、大五圓
蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用薬で手輕に僅かな費用で治療の出来るビノサンが發表されました今すぐ用ゐて劃期的快癒の喜を得て下さい
御來店の方に鼻病説明書無代進呈此廣告御持參の方に一人一回試薬致します
福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)
石城郡特約店 **村山書店**
販賣御希望の方特に御相談に應ず

中村齒科醫院
平町 鍛冶町 七

管内總動員で 火防の大宣傳

平署馬力を掛く 各種の催しや模範火災 學校其他に避難の演習

平警察署では来る十五日の縣下一齊に行はれる防火運動當日官民一致して大宣傳の計畫中であるが當日は各學校及び主要町村の防火講演會、消防檢閲等あり平消防組は午後一時より南町裏手に於いて模範火災を試みる外各戸の電

校、病院、炭礦、大工場にて避難演習を行ひ更らに自動車の宣傳隊、活動常設館の標語映寫等管内各方面を總動員して極力火防思想普及宣傳の徹を圖る筈であるに兒童の製作ポスターを蒐める火防展覽會は十六の兩日平署會議室に催すと

天祖祭の制定に 大内委員が努力

過般の方面委員會に可決
賛成調印を取纏む

内郷村方面委員大内民恵氏は建國的精神を涵養する爲め伊勢皇大神宮の全國的祭典として天祖祭なる國祭日を新たに制定せんと過般の縣下方面委員大會に建議案を提出した處滿場一致で可決されたので目下全縣下に亘つて賛成者の調印を取纏め中である

鹿島青年増員 鹿島村青年團では来る十日午後

モヒ患者 救濟願出

又も二人連

平町役場へ本七日正午頃山形市上の山一七二岡山一郎(三)及び愛知縣名古屋市新道町六丁目三八鈴木政吉

患者が徒歩で仙臺に向ふ途

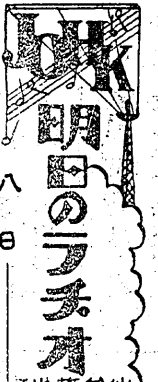
郷土の偉人を 主材にした劇

兒童等の手で上演
平第二小學校

既報來る十二月中旬の平第二小學校郷土祭には併せて郷土調査展覽會及び學藝會を催すが學藝會の種目は左の如く何れも郷土の史實や傳説を立林にした創作ものを上演すると
一年對話「私の家」二年對話「劇蛇ヶ淵」三年對話「町内名所案内」四年劇「大越中佐」五年劇「海の幸山の幸」六年劇「安藤信正」高一劇「徳尼姫」高二劇「義人勝爲」

骨盗み犯人 一先づ自宅へ

既報内郷村の眞光院の納骨堂より骨壺を窃取して平署に檢舉された同村大字高坂字三本杉二九居住無職鹽元



明日のラジオ
今夜は北の風曇明日は北西の風天気良なる見込

今晚の部
後六〇〇(子供の時間)少年映畫物語「僕らの弟」高村秀嶺
後七三〇 講演「若き日のラヂオ」お玉夫人と其の時代「寺内信一」
後八〇〇 映畫物語「黒

明日の部
衣の處女「人見静一郎」後八三〇 長唱「傾城」
後八五〇 落語「文七元結」三遊亭圓生
後九三〇 時報「ニュー」
氣象通報 番組豫告

平町で
大角力
來る廿四日
豊年萬作で大繁忙の平附近各農家も本月下旬頃には極りがつくりを見越し來る廿四日平町團體事務所東隣りの空地にて男女の川一行の東京大相撲一行を招き大々的に興業すると

裁判所だより
△既報双葉郡浪江町大字權現堂字上橋町六高松長壽(三)が同郡大堀村大字井手字澤山國有林内より栗生立木二百四十一本價格二百餘圓を盗伐した森林窃盜事件の官渡は本日午前十時より平區裁判所於て中島判事係り清田檢事立會の下に開廷されたが判事より懲役四ヶ月罰金三百圓但し刑の執行猶豫三年間を言渡された

平職業紹介所報告
回人を求める方
△女中 四十才 月十圓位
外面談(平町某)
△兒守 十五迄 尋卒 仕
着外小遣(平町某)
△兒守 十五才 尋卒 仕
着外年三十圓(平町某)
△自動車修繕工 十八才 尋卒 仕着外四圓位(平町某)
回職を求める方
△土工夫 二十才 高卒 給料面談(内郷村某)

後七〇〇 基礎英(座)
前八〇〇 岡倉由三郎(座)
前八五〇 祝詞通釋講座
前九〇〇 文學博士山田孝雄
前九一〇 料理献立「サシマ」のクロケート「成田玉純發表
前〇〇五 滿洲より「滿洲の大豆の當面の問題」とその開拓「關東軍司令部特務部商工事務官 菱沼勇二」
後二〇〇 家庭講座「手輕に出來七五三の料理」
後三〇〇 伊勢子
後五三〇 受驗講座「代敷」松村定次郎

後六〇〇(子供の時間)管絃樂と合唱 管絃樂「軍隊行進曲」二花の歌 合唱 結婚行進曲 仙臺管絃樂團 太陽保母養成所 生徒 指揮 熊谷仙太
後六二五 ことば講座「口語の變遷」野村八良
後七三〇 講演「書道と國民精神」出雲路通次郎
後八〇〇 ラヂオドラマ「おふくろ」
後八五〇 落語「飯澤」柱文治

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

美味!
芳醇!



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第八十三回

血に飢ゆる村正

天道正を照す

元吉原の事は會所の四郎兵衛が興ります所で、何事も會所へ出ると今日で申す警察へ出たやうなものでモ一内々では済みません

四『萬字屋さんどうぞ此方へ出て下さい、本來は八ッ橋を呼び寄せるのだが花魁が出てくると目立つてならぬゆえ夫で八ッ橋だけ遠慮をしたが精しい事をお聞きなすつたか』

三『源久から承知いたしましたして驚き入つた事でございませう』

四『只驚きなすつたばかりでは事は済みません、五町の支配をする四郎兵衛の耳に這入つた上は、充分に物を盡さなければなりません阿波太夫聞けばお前が軍師ださうだ飛んだ事をする男だな』

阿『軍師といふ譯でもございませぬが、いろ／＼それが何でございませうから』
四『いろいろや何での事を聞くのぢやアない、斯うなつて見ると外に仕方がない第一に三百兩の金を拵へて之を返済する其後は佐野の大盡へ御詫をし跡は兎も角も、モウ一度萬字屋』

家へ来てお貰ひ申さなければ尙此の評判が高くなりませぬ』

三『私もそれを願ひます所でございませぬ、金は八橋初め連印になつて居る此者共で取揃へてお返し申し其上御詫をしてモウ一度此の廓へお出でを願ひまする心得』

合をしたら宜しからう』
仲『何に致せ三百兩と申しまする金ゆえ何うか四五日お日延べを願ひたいものでございませぬ其内に相談をして纏める様に致します』
源『いけませんよ、四五日なんて猶豫が出来るものかお前方が盗賊をするのに今日盗む所だが四五日猶豫をしてやるとは仰しやるまい今直ぐにお捕ひなさい、阿波太夫でも丸善でも皆金持だ、私共とは譯が違ふ、況して萬屋夫婦が連印で見たら三百兩位は直ぐにも出来さうな事だ』



でございませぬ』
四『然うなつて見ると阿波太夫始め大勢で金をまとめる源久、紋吉に渡して且那の手におさめて貰ふより外仕方がない、早く金の方の都合をしたら宜しからう』

と平常の意趣返しは此んな時だと思つて源久と紋吉は威張り放題威張つて居ります、扱て悪い奴等も理屈には勝てません、終々連借で高利を借りて三百兩は源久の手に返しました、證文は引替にして渡してやり紋吉『就きましては會所の旦那や萬字屋さんへ願ひますは、同じ廓に居りまして此んな事をしたといふ腹立で明日から座敷へ出られぬやうになりませぬ迷惑いたします、どうか是は人の爲に悪口を聞いたんだと思召て相變らず御最良を願ひます』

源『私も其通りでございませぬ』
四『夫ア二人共心配には及ばない、お前方を呼ばないといふのは萬屋一軒位は弱きを助ける日本魂、却て是が評判になると座敷は澤山出来るから心配をなさな』

源『左様なら會所の旦那と萬字屋さんで當分買切つてお呉んなさい』
四『蟲の宜い男だ』

紋『斯う話が分りましたなら私共は是から大盡の定宿佐野屋へ参りまして金子をお渡し申すと致しませう』
と各々に挨拶をして二人の者は出て参りました、さて其の跡で阿波太夫初め一同の者は會所の四郎兵衛に目の玉の飛出る程叱言を云はれましたのは氣味の宜い事でございませぬ、源久、紋吉は右の由を次郎左衛門へ話をすると當人も喜び、約

東通り三百兩は二人へ呉れました其の中國許に用事が出来て次郎左衛門は歸國を致す二人の暫間は却てこれが評判になり、親切の者だといふので座敷が澤山でございませぬ、夫に引替へて阿波太夫や丸善は、トンと座敷がなくなりました萬屋の家は火が消えたやうになるし、八ッ橋は十日も二十日もお茶を引くといふ事になりませぬソコで悪者共が集まりどうか回復をしたものだと相談をしたが、さて名案も浮びませぬ、處が萬字屋の主人も此の一件では大きに胸を痛め、會所の四郎兵衛を頼んで佐野の次郎左衛門に泣付かうといふ考へを起しました。

看護婦急派の求めに應じませぬ
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

お醬油は ヤマフル
醬油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町電話營業部三釵造工場
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

確實親切は

正木織物店ノ生命也
絹織物正木織物店へ
開業三十五週年を祝するため
二割引にて大々的勉強御註文に應ず
御註文ノ時ハ(呼出六七四番)へ店員伺ヒマス
平町字新町貳貳番(公園下)
白生地 正木織物店
賃織販賣

福幸の主株

本店同様營業を開始いたしました
御利用下さい

内郷出張所
平湯出張所
各地代理店募集

福島縣平町十五丁目廿六
常磐商工助成株式會社
電話四六六番
振替東京六二九五一番